

# 学生実習受け入れ再開

## 射水の老健 入所者接種完了

射水市三ヶ(小杉)の老人保健施設「みしま野苑」が今月から、学生の看護実習を受け入れている。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で昨年度は見合わせていたが、5月までに施

設入所者のワクチン接種が完了したため約2年ぶりに再開に踏み切った。

今月1日から実習に参加しているのは県立大看護学部3年生8人。3年生は老年看護実習が必修で、入所



老人保健施設で実習する学生(右端、左端)＝みしま野苑一穂

者の健康チェックや食事、入浴介助など生活全般を世話している。実習は毎日午前9時～午後4時。10日までに続き、14日からは別の8人が実習する。

河端美雨さんと阿部眞由子さんは「高齢者の尊厳を大切にして接したい。マスクで表情が分かりにくいので、相手の目を見るコミュニケーション」を心掛けた」と話した。

ワクチン接種は入所者95人が2回を完了し、施設職員80人は1回目をほぼ終えている。同施設はコロナ前、富山大や富山福祉短大、富山医療福祉専門学校などの実習を受け入れてきた実績があり、遠山一喜施設長は「そろそろ再開しても大丈夫と判断した。人材育成は重要であり、学生は介護の現状を肌で感じ取ってほしい」と話した。